

■年頭所感

地方の価値創造について発信しよう

昨年は東日本大震災に日本中が振り回された一年であったが、年が明けた今も深い傷跡が癒えない。しかしボランティアを始め、各方面の努力の結果一歩ずつ復興が進んでいることは喜ばしいことである。筆者が言われるように、我々の生活が人と人とのつながりで成り立っていることに気づき、その絆が見直され、強まったことにあると思う。

復興が遅れている大きな理由に国の縦割り行政の弊害がある。地方分権の時代と言われながら、予算配分や事業の許認可といった面で各省庁の基準や考え方が異なるため調整に時間がかかり、なかなか進まない。この度のような突発的な大震災の場合、地方に特区的な法的権限を与え、広域災害の復興計画実施の裁量を可能な限り任せるべきである。

北海道を一つの地方と考えた場合、自立した地方のあり方を自身で考えていかねばならないという筆者の考え方には共感できる。東日本大震災のような災害が「もし北海道で起きたら」同じ轍を踏まないように、早急に防災計画を見直していくべきである。その際、犠牲者を出さないため「人命優先」の立場からハード面ばかりでなく、ソフト面を考慮した計画を立てていくべきと考える。

生活再建に苦しむ東北の住民を見るとき、同じ苦勞をしないためにも技術者の責任は重い。今回の所感を読み、改めて防災について感じた次第である。

(K. T)

■報告

第 31 回地域産学官と技術士の合同セミナー  
「東日本大震災に学ぶ」

このセミナーに参加しました。3 編の講演を聴かせていただきましたが、いずれも心に響く貴重な内

容でした。柴田講師の「稲むらの火」の物語、初めて知りました。濱口梧陵の状況に即した目的行動の選択、地域指導者の統率力と犠牲的精神。ガレキの受け入れを早々に拒否したどこかの首長に聞かせてやりたい言葉です。被災地で陣頭指揮をとられた川崎講師の「日ごろの準備、訓練が本番でも役立つ」という言葉と片田講師の津波防災教育。釜石の子どもたちがこのたびの震災で実践し、みごとに被害を逃れたことは感動的です。

「津波てんでんこ」は我が家の合言葉になりました。ハードでの対策には限界がありますが、ソフトでの対策にはまだまだ余地があると思います。防災教育は意識改革。そして日常訓練が重要であることを痛感いたしました。(by のんべ 51)

オホーツク技術士会 技術講演会

久しぶりに読者の声に投稿します。

今回はさる 2011 年 11 月 2 日に開催されたオホーツク技術士会の講演会について書かせていただきます。

常にホットな話題にスポットを当てて、オホーツク地区に根ざした講演や話題提供をされている「オホーツク技術士会さん」の活動にエールを送りたいと思います。今回も「オホーツク地域を支える基幹産業である漁業事業の現状や港の整備状況の解説」、「網走市における地域防災・減災についての取り組み状況」について解り易く報告されており、興味深く読ませていただきました。こうした地域の実情や話題についてこれからも「コンサルタンツ北海道」を通じて情報提供していただきたいと思います。

(J. I)

## 平成 23 年度業務委員会講演会 ～食の総合産業の確立を通じた北海道経済の展望～

北海道の自立と言えば「食と観光」と昔から言われ食クラスターの言葉は耳慣れた言葉になって来ています。この度の講演会では更に「食資源の付加価値向上」「売れる商品開発」「道外海外への販路拡大」の紹介が行われています。益々の自立に向けた取り組みを応援したくなりますね。それから地産地消もよく言われております。道民のひとり一人が「美味しいな」とか「手頃な値段だね」とか「お土産にしたいな」と思えば道外海外の販路拡大は十分可能性が生まれてくると思います。道民への PR がより一層大事と思いました。(SH)

### 道央技術士会

#### ～平成 23 年度第 2 回施設見学会及び講演会 伊達ソーラー発電所・伊達市北黄金貝塚公園～

副題の「古代と現代のエコ」に惹かれて読みました。縄文人の「必要なものを必要な分しか採取しない」というエコの精神が、縄文文化を一万年もの長い間繁栄させたことを知り、感心させられました。それに比べて現代人は如何に多くの無駄な物を作っていることか。

そういう思いで伊達ソーラー発電所の報文を読み直してみると、現代のエコも素晴らしい。発電所の建設費用はメガワットの太陽光発電も 100 万キロワットの内発もおおよそ 400 千円 /Kw なので、その後の運転経費やリスクを考えると太陽光の方がいいに決まってる。

しかしさてよ、これを縄文人が見たらなんと言うだろう。夏のいつときの暑さのためにそんなにお金をかけて発電所を作るの？一日の数時間のピークのために作るの？私たちなら電気の使う時間をみんなで分け合うわ。そんなのエコじゃなくてあなたたちのエゴよ。

いや、縄文人君よ、違うのだ。今に原発が全て止まるのだ。だから、エコな自然エネルギーを活用するんだよ。こう言っても彼らは納得しないだろうが、伊達をはじめ、計画も含めると 80 もある我が国のメガソーラー発電所の活躍を祈らずにはおられない。(いつものおせっかい男 MS)

### ■寄稿文

#### 片田敏孝教授の講演を聴いて： 「想定外を生き抜く力」

2011 年 3 月 11 日、この日は多くの日本人にとって忘れられない辛い日になりました。そして、今も辛い思いをされている方も多くいらっしゃると思います。心からお見舞い申し上げます。

私もこのセミナーに出席しましたが、「釜石の奇跡」とも言われている子どもたちの行動、それを導き出した片田教授の取り組み等学ぶべきところが沢山ありました。そして最後に、これからの求められる防災は「人の死なない防災」と結ばれ、そういう観点から見れば「道半ば・力及ばずであった」と言われていたことが強く印象に残っております。

今回のセミナーを開催された防災委員会の関係者の皆さまに深く感謝申し上げます。このように委員会や研究会での活動から多くの学ぶところがあるといつも感じております。これからも青年のときのよき志を抱いて活動に参加していきたいものと思っています。(Boys, be ambitious : MK)

### ■会員のひろば

#### 「ガーデニング検定」もうすぐです

ガーデニング検定の紹介です。私はこのような検定試験があること自体知りませんでした。私の家にも狭いですが庭があり、春になると雪囲いはずしてガーデニングとまではいきませんが、それらしいことをしています。正直、私はあまり得意でないので観賞するのみにしたいのですが、妻が好きなことから私は普通作業員として使われているというのが実態です。私もこのような資格を取得できれば、妻と対等な立場でガーデニングを楽しめるようになるかなと、ちょっと考えましたが、たぶん権力関係で無理だろうと思いました。執筆者は、第 1 回試験から携わっておられ、北海道に適用できる最高レベルの園芸書を作成されているようで、ガーデニング検定に対する熱意が伝わってきます。盛況な検定試験になることを祈念しております。(Y. K 血液 AB 型)